

令和2年9月28日

## 国際地震工学研修

**開発途上国11カ国16名の研究者や技術者を対象とした1年間の地震工学通年研修を実施します。**

国立研究開発法人建築研究所では、開発途上国の若い研究者や技術者を対象とした、地震学・地震工学・津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」を令和2年10月2日から遠隔研修にて開始します。

本研修は、地震学、地震工学、津波防災の3つの1コースに分かれ、職員や外部講師による講義や実習などに最新の情報や知見を取り入れて行うことにより、開発途上国における地震防災対策の向上を図ることを目的に実施されます。

研修生は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、それぞれの専門性を考慮した講義を来日までの期間について各国研修員の自宅でリモート受講するとともに、今後來日可能となった場合には随時各種講義を受講しつつ、平成23年東北地方太平洋沖地震や平成28年熊本地震等の被災地を訪れ、被害の状況、復興、教訓等を学び、研修生の母国で抱える個別の課題に対応するための調査研究をまとめる予定です。

なお、本研修は、独立行政法人国際協力機構及び政策研究大学院大学との連携により、修士課程に入学し、所定の単位を取得すれば、修士号を取得することが可能な研修となっています。

本研修を通じて、研修生の知識の向上のみならず、日本人講師や研修生間での新たな人的ネットワークの形成につながることが期待されます。

特に、今回は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大という状況からリモートによる開講式を予定しております。

<参考：第61回国際地震工学研修開講式の日程等>

日時：令和2年10月2日（金）11:00～

場所：リモート開催（建築研究所、JICA筑波共催）

研修生の出身国と人数（単位：人）

バングラディッシュ(2)、ブータン(2)、チリ(1)、エルサルバドル(2)、インドネシア(2)、マレーシア(2)、フィリピン(1)、トンガ(1)、東ティモール(1)、ソロモン(1)、バヌアツ(1)

<その他研修の情報については、<https://iisee.kenken.go.jp/japanese/>を参照のこと>

### （内容及び開講式取材の問合せ先）

国立研究開発法人 建築研究所（つくば市立原1）

所属 国際地震工学センター

職名 管理室長

氏名 山田高広

電話 029-879-0678(直通)

e-mail yamada@kenken.go.jp